

一般研究発表 | 5月18日(土) |

①09:30-12:00、②13:00-13:40 高知大学 共通教育1号館

	第1会場 共通教育1号館133	第2会場 共通教育1号館136	第3会場 共通教育1号館137
09:30-10:10	カントにおける教会概念の諸様相 —可視性をめぐる観点からの一考察—	ブーバー『我と汝』における直接的憎悪の意味	「全体」をめぐるヘーゲルとクワイン——ブランドム『信頼の精神』におけるアナロジーをてがかりとして
	森 良太	嘉目 道人	小原 優吉
司会	石田 京子	八重樫 徹	島村 修平
10:20-11:00	『純粹理性批判』第二版演繹論前半の再構成：思考の主体であるための条件は何か	ボンヘッファーの「責任を負う生」と行動	『哲学探究』の「原初的な言語」はなぜ「完全」なのか
	久保田 智也	逢坂 暁乃	溝越 大秦
司会	伊藤 貴雄	池田 喬	薄井 尚樹
11:10-11:50	分析道具としての「反応依存性」理論：その彫琢の試み	『否定弁証法』における身体-変容可能性をめぐる-	後期ウイトゲンシュタインにおけるポイントについて
	千葉 清史	高橋 奏子	大谷 弘 谷田 雄毅
司会	八重樫 徹	陶久 明日香	富山 豊
13:00-13:40	前期ハイデガーの芸術把握におけるディルタイの芸術論からの影響について	法における形式的普遍性とそのポテンシャルティ——カント的普遍主義の継承者としてのハーバーマスとデリダ	コギトを「最善の説明への推論 (IBE)」によって導出する
	木下 由裕	米田 恵	田村 歩
司会	轟 孝夫	宮崎 裕助	津崎 良典

第4会場 共通教育2号館222	
9:30-12:00	公募ワークショップ 「ブランドム『信頼の精神』と推論主義の可能性——ヘーゲル主義としての推論主義とその拡張」
	大河内 泰樹

* 発表25分／質疑15分を目安とする。